

市内郵便局と包括連携協定を締結



市内郵便局15局（代表：五所川原郵便局）と本市の間で結ばれた包括連携協定の締結式が4月10日、市長公室で執り行われました。本協定は、災害時における相互協力、平常時における高齢者見守り活動等の対応を円滑に遂行するため協力事項を定めたものです。災害時、避難者の同意を得て避難所で市が収集した避難情報に基づき、郵便物を円滑に配達します。

また、平常時においては、配達中の郵便局員が、高齢者等の異変に気づいた場合に市へ連絡する地域見守り活動のほか、道路損傷や不法投棄に気づいた場合も市へ連絡し、安全安心なまちづくりに向け連携・協力体制を構築していきます。

五所川原圏域空き家バンクに関する協定締結



3月28日、2市4町で形成する五所川原圏域の空き家を有効活用する五所川原圏域空き家バンクに関する協定を県宅地建物取引業協会（杉野森照道副会長（右））、全日本不動産協会青森県支部（大坂功副本部長（左））と交わしました。この事業は、空き家を売りたい、貸したい所有者が登録申請し、その物件を宅建業者が調査等を行い、一定の要件を満たしていれば空き家バンクに登録され、ホームページ上に公開されます。空き家を購入、賃借したい利用希望者等がその情報をホームページ上から検索し、宅建業者が仲介するしくみとなっています。この事業で移住定住促進や空き家の利活用がさらに活性化することを期待しています。

平成29年立佞武多ポスター決定



3月30日、今年の立佞武多祭りをPRするポスターが発表されました。応募は、市内の印刷業者4社が11点提出し、7名の審査員により審査され、有限会社アート印刷（津島卓世代表取締役）の作成したポスターが選出されました。

新しいポスターは、昨年より出陣の「歌舞伎創生 出雲阿国」をはじめ、色鮮やかな立佞武多が並び、また今年は「親子の旅立ち」の運行から20年目の節目を迎えるため、「20年さらなる躍動」を強調しています。

ポスターは、3,500枚作成され、市内のほかに県内外やJRの各駅にも張り出される予定で、情報発信に大きく貢献することが期待されます。

移住支援動画

「五所川原は突然に」完成



県外からの移住希望者へのPRのため、平成28年8月から制作していた移住支援動画が完成し、3月28日に披露会を行いました。同日に公開を開始し、五所川原市移住支援サイト、Youtube等で公開しています。

本動画は、「移住ミステリー」をコンセプトとし、1話あたり5分の全5話のドラマ形式で、ストーリーの中に市の景勝地・観光地、施設、食などの要素を随所に折り混ぜながら展開しています。

撮影は市内で行い、多くの市民の方に協力をいただきました。市民の皆さんにとってゆかりのある場所が登場しますので、市出身者にとっても馴染みの店や景色を楽しむことができる動画になっています。また、移住希望者にとっては市の雰囲気を感じられる動画ですので、市外の友人、知り合いの方にもご紹介ください。